

日本電磁波エネルギー応用学会 シミュレーション WG 講習会

電磁波シミュレーションを研究に取り入れ成果をあげるための 知識と実践、論文作成、査読への対処を全 4 回で徹底講習

1. 第 2 回講習内容(1 回目及び 3 回目以降の内容は 2 枚目をご覧ください)

テーマ シミュレーションに関する問題解決、解析結果を得るまでの知識と技術

目的 研究の中でシミュレーションを進めると

- ・メッシュ増大による解析時間の加速度的増加
- ・物性値のモデリング
- ・発散の発生

などの問題に直面します。マルチモードキャビティの電界分布予測を通してこれらに直面したときの**問題解決手法を講習・実習し解を得る知識と技術を身につけます**、また研究を円滑に進めるための知識の習得を目的とします。第 1 回の講習内容をベースに説明を行います。今回の講習でも独立して学んでいただけます。

2. 第 2 回日程 2018 年 7 月 6 日(金) (14:00~17:00) 開場・受付開始 13:30 ~

3. 会場 株式会社科学技術研究所 セミナールーム (予定 人数多数の場合近隣に変更)

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-5-4 麴町インテリジェントビル 8 階

東京メトロ有楽町線麴町駅より 1 分、半蔵門線半蔵門、永田町、JR 四ツ谷駅から徒歩圏

<https://www.kagiken.co.jp/company/access>

4. 参加費用 各回 一般 6,000 円・学生 5,000 円(税込) *領収書を発行いたします。

(学会員/非学会員同額。当日受付にて現金でお支払いまたは事前お振込み お支払い後、欠席の場合はテキストを後日郵送いたしますが返金は致しません。)

テキストのみは 3,000 円(税込)+510 円(送料)(郵送時にご請求書を送付します。)

懇親会は希望者が 10 人以上の場合 4,000 円(税込)で実施します。

5. 参加申し込み 日本電磁波エネルギー応用学会(JEMEA)ホームページ

<http://www.jemea.org> (QR コードも利用可)

「シミュレーションWG第2回講演会」コーナーから

直接フォームにアクセス

<https://gt102.secure.ne.jp/~gt102009/20180706/20180706.html>



(先着順受付 定員 15 名 締切り: 7 月 2 日(月))

主催 日本電磁波エネルギー応用学会(JEMEA)

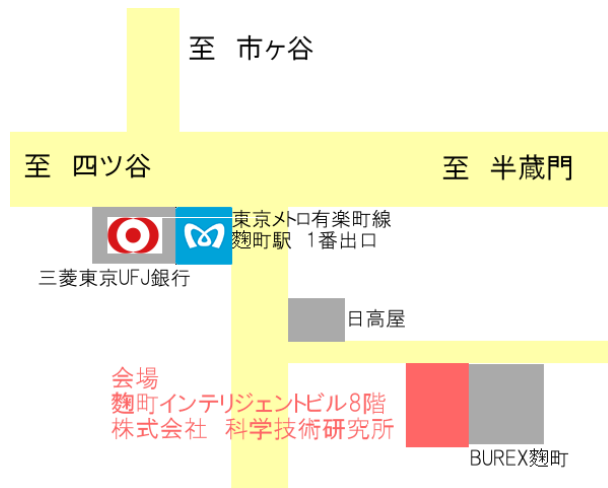
シミュレーション WG 代表 藤田明希

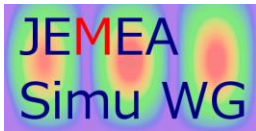
連絡先 当学会事務局 佐藤

E-mail: office@jemea.org

Tel & Fax: 03(3414)4554

講演会当日連絡先: 090(2739)8621





第 1 回(2018 年 3 月 5 日)

テーマ 電磁波シミュレーションに関する基礎知識の習得と実践 (日程等 1 枚目)

目的 FDTD 法を用いた電磁波シミュレーションをマイクロ波研究に活用するために必要な知識を講習し、マルチモードキャビティの定在波分布シミュレーションを実践・実習します。支配方程式、メッシュ、境界条件、収束など解説を行い、特定のソフトウェア使用法に留まらない電磁波シミュレーションの基礎習得を目的とします。また時系列データを可視化しマイクロ波に関する現象理解を目指します。 盛況裡に終了しました → 2018 年 5 月 24 日再講習実施予定

第 2 回(2018 年 7 月 6 日)

テーマ シミュレーションに関する問題解決 (2018 年 7 月 6 日)

目的 研究の中でシミュレーションを進めると

- ・メッシュ増大による解析時間の加速度的増加
- ・物性値の取得が困難
- ・発散の発生

などの問題に直面します。マルチモードキャビティの電界分布予測を通してこれらに直面したときの**問題解決手法を講習・実習し解を得る知見と技術を身につけます**、また研究を円滑に進めるための知識の習得を目的とします。第 1 回の講習内容をベースに説明を行いますが、今回の講習でも独立して学んでいただけます。第 1 回目のテキストは別途購入、当日お渡し可能です (※3,000 円)。

第 3 回(2018 年 10 月予定)

テーマ シミュレーションと実験の比較方法 (2018 年 10 月頃予定)

目的 研究においてシミュレーションと実験を比較する場合にはシミュレーションにおいて

- ・暗黙に仮定されている物理現象
- ・シミュレーションのモデル化に関する知識
- ・シミュレーション結果の妥当性検討

などの基礎+ α の知識が必要です。第 3 回では**シミュレーションを研究成果として活用するために一歩進んだ知識の習得を目的**とします。

第 4 回(2019 年 1 月予定)

テーマ 研究や論文執筆におけるシミュレーション活用方法及び相談会 (2019 年 1 月頃予定)

目的 シミュレーションで得られた結果を論文や報告書にまとめる際に記載すべき内容を講習します。シミュレーションを使用した研究成果は査読に耐える論文に仕上げるための知識や記述内容などを講習します。また実際の論文や報告書に関する相談を受け付ける時間を確保する予定です。この 4 回の講習で**シミュレーションを研究に役立てるための知識の習得と実習が可能**です。